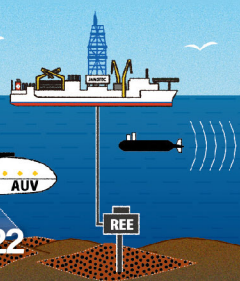




革新的深海資源調査技術

News Letter Vol. 27

10 FEB. 2022

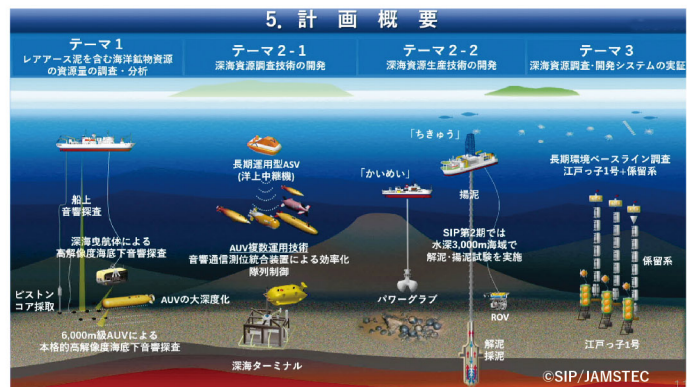


2021年度 革新的深海資源調査技術報告会 開催

2021年11月19日(金)、東京のイイノホールにて革新的深海資源調査技術成果報告会「持続性ある海洋資源開発と海洋環境について」を開催し、4年目を迎えました当プログラムの資源開発に向けた取り組みを最新トピックスとともにご紹介しました。

今回は、コロナ禍での開催となりましたため、感染拡大防止策を講じたうえで、初めての試みとなる会場とオンラインの同時開催という、ハイブリッド型の成果報告会となりましたが、115名の方が会場へお越しいただいた他、約290名の方にオンラインで視聴いただきました。

当日は、石井プログラムディレクターの全体成果・概要説明の後、各テーマリーダーによる成果報告を第1部とし、「持続性ある海洋資源開発と海洋環境について」と題したパネルディスカッションを第2部とした、2部構成のプログラムとしました。



プレゼンテーション資料の一部



こちらのQRコードから
アクセスできます

第1部の石井プログラムディレクターと各テーマリーダーによる成果報告では、オンライン参加の方も会場と変わらない形でご参加いただけるように、質問箱を設置して質疑応答ができるよう新しい試みを実施しました。

会場では舞台上の大きなスクリーンを利用し、画像や映像を多用してプログラムの取組状況について報告を行いました。プログラム開始から4年目の報告会ということもあり、初年度からの調査研究の結果を基に、より詳細な分析を行った成果をお伝えすることができました。

第2部のパネルディスカッション「持続性ある海洋資源開発と海洋環境について」では、まず、海洋環境影響評価に関する技術開発と、これらの技術を利用した民間での産業化モデル構築への取り組みについて課題説明を行った後に、

SDGsを意識した将来の海洋資源開発について、パネリストそれぞれのご専門の視点から活発なディスカッションが行われました。

第1部、第2部ともに報告会の詳細については、ビデオギャラリーにて(<http://www.jamstec.go.jp/sip2/j/videos/>)アーカイブ映像を公開しております。是非ご覧ください。

来年度は、いよいよ最終年度となります5年目を迎えます。プログラムで設定した目標を達成するため、最終年度にも様々な試験航海を控えており、来年度の報告会では、より充実した活動内容を報告できるよう、日々研究開発に励んで参ります。

レアアース生産技術の開発

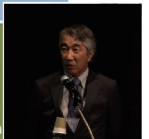


映像・画像・資料を活用し来場者に詳しく報告

海洋を利用するための国際基準と基本原則

国連海洋法のもとで使われる環境保全と管理の基本原則

- IMO PSSA: Particularly Sensitive Sea Area
- FAO VME: Vulnerable Marine Ecosystem
- CBD/UNEP EBSA: Ecologically and Biologically Significant Area
- ISA 海底鉱物資源開発での環境指針と開発規則
- SDGs Sustainable Development Goals14: 海の豊かさを守ろう
- BBNJ 海洋生物の多様性保全に関する文書(策定中)



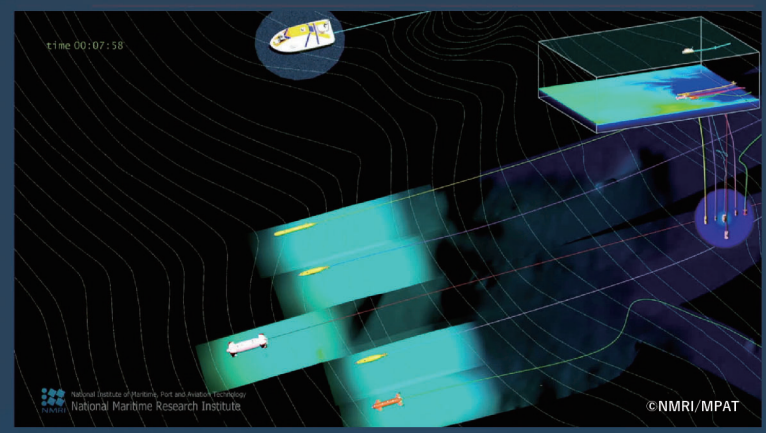
基準と原則に準拠した持続的な海洋資源開発の実施

一定の品質を維持した調査観測技術: ISO, OECD等の技術規格、特許、学術論文、海洋観測指針など

©SIP/JAMSTEC

第2部 基調講演

テーマ2-1 深海資源調査技術の開発



©NMRI/MPAT

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)
2021年度 革新的深海資源調査技術 報告会



持続性ある海洋資源開発と
海洋環境について

成果報告会の様子を
ビデオギャラリーにて公開中!

